

平成22年5月12日

事業の評価書

池田市長 様

協議会名 くれは地域コミュニティ推進協議会

代表者名 林 克彦



記

事業の名称	共同利用施設便所改修事業
事業実施前の状況	共同利用施設利用者の高齢化が進み、和式便所の使用は、たいへん苦痛であった。
事業実施後の状況	和式便器を洋式便器への改修や手摺を設置することにより、快適に便所を利用することが出来、共同利用施設利用者のより一層の利便を図ることが出来た。
事業の効果	地域の情報交換やふれあいの場として重要な位置付けにある共同利用施設の利便が図られたことにより、高齢者にも外出しやすい環境を整えることが出来た。
今後の課題等	手摺の未設置など、他事業との予算状況も鑑み、整備を進めることが出来ればと考える。

平成22年5月12日

事業の評価書

池田市長 様

協議会名 くれは地域コミュニティ推進協議会

代表者名 林 克彦



記

事業の名称	呉服小学校区盆踊り大会の実施事業
事業実施前の状況	校区内で、自治会や町内会単位で開催されており、校区全体の一体感は感じられなかった。
事業実施後の状況	各自治会や町内会単位の開催に加えて、地域全体で継続して開催することにより、校区に活気が出てきた。
事業の効果	開催内容の検討や準備を地域（校区）住民が協力して一体となっていくことにより、校区に連帯感が生まれている。
今後の課題等	継続して開催することにより、より一層の連帯感を図る。

平成22年5月12日

事業の評価書

池田市長 様

協議会名 くれは地域コミュニティ推進協議会

代表者名 林 克彦



記

事業の名称	防犯灯照度向上事業
事業実施前の状況	2年間引き続き実施している事業であり、未実施箇所の住民要望や協議会で検討している箇所への設置を予定。
事業実施後の状況	先に実施した街路灯照度向上では、ひったくり等の犯罪が減少し、周辺住民からは夜道も安心して歩けるなど好評である。
事業の効果	地域住民の防犯意識の向上を図ることが出来た。
今後の課題等	設置要望の対応や未実施箇所の抽出に努める。

平成22年5月12日

事業の評価書

池田市長 様

協議会名 くれは地域コミュニティ推進協議会

代表者名 林 克彦



記

事業の名称	呉服小学校一階東側便所改修事業
事業実施前の状況	学校グラウンドを利用した地域の行事を行う際、外から利用できる便所は和式だけであり、高齢者は洋式の設置を望んでいた。
事業実施後の状況	地域行事の際にも安心して参加できる環境が整ったと喜ばれている。
事業の効果	高齢者にも外出しやすく、地域行事などへも安心して参加できる環境を整えることが出来、高齢者の参加促進を図れた。
今後の課題等	手摺の未設置など、他事業との予算状況も鑑み、整備を進めることが出来ればと考える。

平成22年5月12日

事業の評価書

池田市長 様

協議会名 くれは地域コミュニティ推進協議会

代表者名 林 克彦



記

事業の名称	通学路時計設置事業
事業実施前の状況	八王寺方面から学校までの登下校の距離が長く、時間を確認できる店舗等も少ないため、子ども達も見守る方としても少々不安があった。
事業実施後の状況	通学路にある3店舗に協力を得て、子供達が見やすく、活用しやすい場所に時計を設置した。
事業の効果	時計を設置することにより、見守る側も子供達自身にも時間の観念が生まれ、登下校時の安心感が向上した。
今後の課題等	八王寺方面に限らず、周辺で必要と思われる箇所へも設置を検討していく。